






安全上のご注意 必ずお守りください



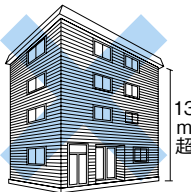

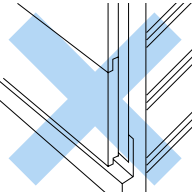

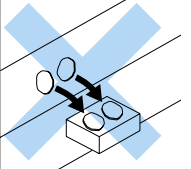



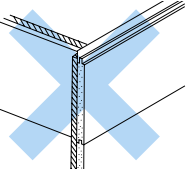

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、「はる・一番」を安全に正しくお使いください。
 ご使用者や他の人々への危害・損害を未然に防止するために必ずお守り頂くことを説明しています。

「はる・一番」は外壁材です。外壁以外には使用しないでください。


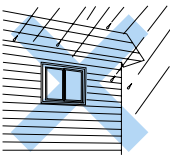
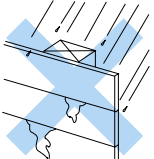
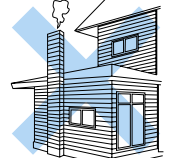
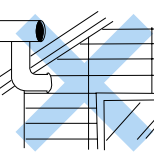
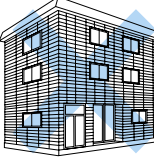
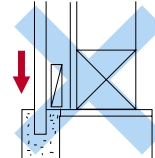
「はる・一番」は専門施工が必要です。
 必ず施工は専門工事業者が行ってください。お施主様ご自身で施工は行わないでください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

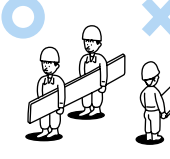
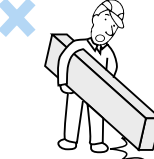


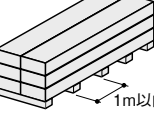

 <h2 style="margin: 0;">警告</h2> <p>この表示の欄は、取扱いを誤った場合に「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p>	 <h2 style="margin: 0;">注意</h2> <p>この表示の欄は、取扱いを誤った場合に「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。</p>	
<p>■ お守りいただく内容を次の図記号で区分し、説明しています。</p>		
 <p>「してはいけない」内容です。</p>	 <p>「必ず行っていただく」内容です。</p>	 <p>気をつけていただきたい 「注意喚起」の内容です。</p>

脱落・怪我防止のための留意事項	
 警告	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"> 禁止</p> <h3 style="text-align: center;">適用高さを超える物件への施工</h3>  <p>建物高さ13mを超える建築部位へは原則使用できません。 ※ただし、適用基準を満たす場合、「はる・一番」施工高さ16m(木造)・20m(鉄骨造)まで対応可能です。(P152・153)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"> 禁止</p> <h3 style="text-align: center;">ALC・RC下地への直留め施工</h3>  <p>留付け釘の保持力が確保できず、サイディング脱落の原因となります。</p> </div> </div>
 禁止	<h3 style="text-align: center;">後付け附帯物のサイディングへの固定</h3>  <p>後付け附帯物を取付ける際、サイディングだけに固定するとサイディングの破損や附帯物の脱落の原因となります。 △サイディング単体の固定では十分な保持力を期待できませんので、必ず下地に固定してください。 また、取付け位置はサイディングの継ぎ手部を避けて取付けてください。</p>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 強風、雨天、降雪時の高所作業は、落下事故の危険がありますので中止してください。 ● 強風時は風にあおられるおそれがありますので、長尺製品を持ち運ばないでください。 ● 金属サイディングは、誘電性があります。感電事故の危険がありますので電気配線に注意してください。 ● 建築基準法や消防法等、建築用途や施工地域に適合した使用をしてください。 ● サイディング本体の裏面や切断面に、炎や火の粉等が当たると引火するおそれがありますので注意してください。 切断作業する周囲には可燃物を置かないでください。 ● 夏場等の日差しの強い時は、製品表面温度が高温になり、火傷のおそれがありますので注意してください。
 注意	<p style="text-align: center;"> 禁止</p> <h3 style="text-align: center;">サイディング木口および切断部の露出施工</h3>  <p>サイディング木口や切断部を露出したままにすると、切創等の怪我をする原因となります。 また、ポリイソシアヌレートフォーム、硬質ウレタンフォームの劣化および、サイディングの錆や塗膜はく離、反り等の原因となります。</p>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● サイディング切断時に高温の鉄粉等が飛びますので、保護メガネ・マスクを着用してください。 ● 切断部のバリ取りは、必ず手袋等を着用し、ヤスリ等で取り除いてください。バリで怪我をすることがありますので注意してください。


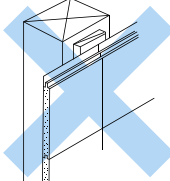
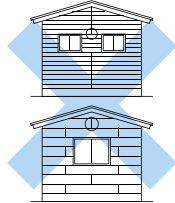
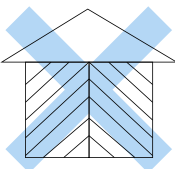
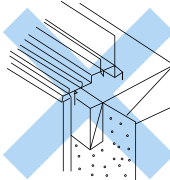
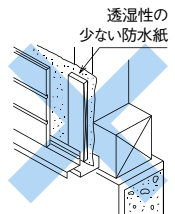
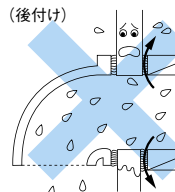
下記用途では使用しないでください

	<p>曲面状の壁面や逆勾配傾斜面（軒が土台よりせり出す傾斜外壁）への施工</p> <p>禁止 反り、変形や脱落の原因となります。</p>	<p>酸性物質の影響が常時ある場所（温泉地域等）での使用</p> <p>禁止</p>
<p>傾斜面への施工</p> <p>禁止</p> 	<p>垂直の壁面に比べ、屋根材に近い過酷な条件となり、表面塗膜の劣化速度を速める原因となります。また、実部からの伝い水により金属サイディング本体に含水し、反り、変形の原因となります。</p>	<p>裏面から雨・風のかかる柵等への施工</p> <p>禁止</p>  <p>裏面からの吸水や乾燥の繰り返しにより、反り、変形、さび、飛散の原因となります。</p>
<p>煙突への施工</p> <p>禁止</p> 	<p>煙突内で発生した水分や熱等の影響により、サイディングの錆、反り、変形の原因となります。</p>	<p>高温部が直接接触する部位への施工</p> <p>禁止</p>  <p>給湯配管、煙突等に直接接触したり、蒸気が直接本体に当たる部位への施工は、避けてください。熱の影響で反り、変形、表面塗膜の耐久性の低下等の原因となります。</p>
<p>耐火構造、1時間準耐火構造が要求される建築物への施工</p> <p>禁止</p>	 <p>「はる・一番」は耐火構造および1時間準耐火構造の認定は取得しておりません。</p>	<p>土台部のモルタルへの埋込みや突付け施工</p> <p>禁止</p>  <p>サイディングが埋込み部や突付け部から吸水し、錆や塗膜劣化等の原因となります。また、吸気ができず標準施工法である通気構法にもなりません。</p>


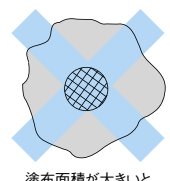
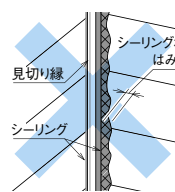
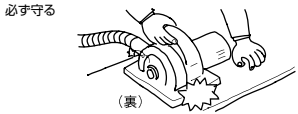
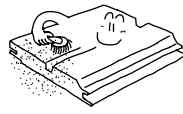
保管・運搬時及び取扱い時の留意事項

<p>持ち運び時は、サイディングは木端立てにして運ぶ</p> <p>必ず守る</p> 	<p>水平に持つ、サイディングの両端を持って吊るす等の運び方をするとサイディングの変形の原因となります。</p>	<p>サイディングの角を当てないようにして運ぶ</p> <p>必ず守る</p>  <p>サイディングを物に当たると変形、損傷の原因となります。</p>	<p>斜めに積み込む時は、当て木を添えてたわまないようにする</p> <p>必ず守る</p>  <p>車輦で運搬する時は、水平に積み込んで運んでください。やむをえず斜めに積み込む時は、当て木を添えてたわまないようにしてください。当て木なしで斜めに積み込むと、サイディングのたわみや変形の原因となります。</p>
<p>ロープがけはきつく締めすぎない</p> <p>必ず守る</p>  <p>ロープの締めすぎ</p>	<p>ロープをきつく締めすぎると、サイディングのたわみや変形の原因となります。</p>	<p>サイディングは不陸がないように、幅方向を水平に置いて保管する</p> <p>必ず守る</p>  <p>サイディングは地面に直接置かず、1m以下間隔の銅木またはパレットの上のせ、不陸や段差のない平らな場所に置いてください。また、幅方向を水平に置いてください。立て掛けは危険ですし、反りや変形の原因となります。</p>	<p>施工現場では必ず防水シートをかけて保管する</p> <p>必ず守る</p>  <p>サイディングや役物類・木材を雨ざらしで保管すると、錆や反りの原因となります。必ず防水シートをかけて、雨ざらしにならないように保管してください。</p>
<p>商品取扱いの際は、下記事項に注意してください。</p> <p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 放り投げたり、落としたりしないこと。 ● 商品の上に重い物をのせたり、人が乗ったりしないこと。 ● 商品が大きいたわむような置き方や運び方をしないこと。 ● 高温多湿な場所での保管はしないこと。 ● 錆や変色の原因になる水蒸気や排気ガス等が発生する場所に保管しないこと。 ● 製品端部などで切削しないよう、適切な保護具を着用するなど、取扱いには注意をお願いします。 			

雨漏れ・結露防止のための留意事項

	<p>禁止 接合部の突付け施工</p>  <p>役物を使用せずに突付け施工すると、突付け部より壁内部に雨水等が入り、雨漏れの原因となります。また突付け部の切断面から吸水し、反りや変形の原因となります。</p>	<p>禁止 乱張り施工</p>  <p>ジョイナーや水切り等とサイディングとの取合い部での施工不良や伝い水等により、雨漏れや汚れ等の原因となります。</p>	<p>禁止 斜め張り施工</p>  <p>斜めに張ると、美部に沿って流れる水量が下に行く程多くなり、壁内部に流入し、雨漏れの原因となります。</p>
<p>禁止 開口部(サッシ等)廻りに役物なし施工</p>  <p>開口部の取合いで役物なしで施工をすると、シーリングのはく離等により、壁内部に雨水等が入り、雨漏れの原因となります。</p>	<p>禁止 透湿性の少ない防水紙の使用(通気構法の場合)</p>  <p>透湿性の少ない塩ビフィルム等の使用は避けてください。結露の原因となります。</p>	<p>禁止 サイディング施工後の換気口の取付け</p>  <p>サイディング施工後に取付けると壁体内に湿気が入る構造となり、結露や雨漏れの原因となります。</p>	
<p>禁止 外張断熱工法での防水紙なし施工</p> <p>外張断熱工法の場合でも、防水紙や防水テープの施工は必ず行ってください。施工不備等があった場合には雨漏れの原因となります。</p>	<p>必ず守る 防水紙・胴縁施工後は速やかにサイディング施工を行う</p> <p>防水紙や胴縁を施工した状態のまま放置すると、強風雨時などの雨漏れの原因となります。</p>		

汚れ・変色防止、その他の留意事項

 <p>禁止 釘頭等の不適切な補修</p>  <p>塗布面積が大きすぎると、現場仕上げ塗料(補修塗料)の攪拌不足、シーリング材の使用等があると経年変化等で補修部が目立つ原因となります。塗布面積は必要最小限に留めてください。</p>	<p>禁止 シーリング材のはみ出し</p>  <p>シーリング材がサイディング表面等にはみ出した場合は、変色により目立ちの原因となります。</p>	<p>禁止 異種金属との接触</p> <p>異種金属(特に銅釘や銅屋根からの雨水)と接触すると電食が起こる場合があります。異種金属との取合い(固定含む)は、電食が起こらないように配慮した納まりとしてください。</p>
<p>必ず守る サイディング裏面からの切断</p>  <p>サイディング表面のキズ防止のため、切断は防塵電動丸のこ(金属用チップソー)を使用し、サイディング裏面から行ってください。</p>	<p>必ず守る 切断時の切粉はきれいに取り除く</p>  <p>切断の際は、切粉がサイディング表面に付着しないようにしてください。また、もらい錆の原因にならないように表面に付着した切粉は、はけ等を使用してきれいに取り除いてください。</p>	<p>禁止 はる・一番の表面へ粘着力の強いテープの貼り付けは行わない</p> <p>表面に粘着力の強いテープ(布テープ・養生テープ・ガムテープなど)を貼付けると、はる・一番の表面の塗膜剥離や糊残りの原因となります。</p> <p>禁止 サイディング・役物に付着した汚れの、シンナー等の溶剤によるふき取り</p> <p>サイディングや役物に付着した塗料等をシンナー等の溶剤でふき取ったり、殺虫剤をかけたりすると、変色の原因となります。サイディングや役物に塗料等が付着した場合は、差替えや現場仕上げ塗料(補修塗料)で補修してください。汚れが広範囲の場合は差替えてください。シンナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。また、サイディングや役物に殺虫剤をかけないでください。</p>
<p>●本体の裏面紙にしわが発生している場合がありますが、商品の性能に影響はありません。</p>		